

家庭科の指導計画例「環境に配慮した生活の工夫」

「電気と電気製品の使われ方の変化」「電気をつくる資源」「地球の環境を守るために」「くらしの省エネルギーと電気の安全」(副読本P5・6、11～16)

▶ 単元の目標

生活を快適にするために電気が役立っていることがわかる。また、電気の使い方を工夫し、生活の中でできる省エネルギーについて考え実践する。

▶ 単元の展開にあたって

電気は日常の生活に欠かせないものであり、快適な生活に役立っている。しかし、電気をつくる資源には限りがある。そこで自分の生活と環境との関わりを見直し、電気の利用を通して省エネルギーを考え実践しようとする態度を育てたい。

▶ 展開例(2時間)

ねらい(時数)	主な学習活動と内容	□留意点 ()評価 副読本の章(ページ)
<p>■生活を便利で快適にする電気の使い方に気づく。(0.5)</p>	<p>①わたしたちの生活を便利で快適にする電気製品の働きについてワークシートにまとめ、確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●昔と今の生活道具の変化を確認し、電気製品が生活にどのように役立っているか考える。 ●電気製品による生活の変化について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・掃除機、洗濯機、エアコン、冷蔵庫 ・労働時間の短縮・作業の軽減等生活が便利に快適になってきている。 	<p>3.電気と電気製品の使われ方の変化(P5,6)</p> <p>□自分の生活の中で考えさせる。</p> <p>□家族に昔の生活を聞いたりして電気製品の使用により便利な生活になったことを身近なことから考えさせ理解させる。</p> <p>〈快適な生活のためには電気が欠かせないことに気づく〉</p>
<p>■快適な生活を続けていくために電気の使い方を考える。(0.5)</p>	<p>②快適な生活を続けていくために、どんなことを考えて電気を使っていったらよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然ガスや石油等の資源には限りがあり、このまま使うとなくなってしまうので大切に使う。 	<p>6.電気をつくる資源(P11,12)</p> <p>7.地球の環境を守るために(P13,14)</p> <p>□「エネルギー資源を利用できる年数」のグラフから考えさせる。</p> <p>〈電気を大切に使い、省エネルギーの工夫を考えようとしているか〉</p>
<p>■身近にできる省エネルギーについて考える。(0.4)</p>	<p>③具体的な省エネルギーの工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●無駄のない電気の使い方を考える。 ●地球の温暖化の原因の二酸化炭素を減らすために、できることを考える。 ●省エネルギーになる電気の使い方を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「くらしの省エネルギーと電気の安全」を参考に実行していることに○印を付け具体的な電気の省エネルギーの方法を知る。 ●今、家庭で実行している省エネルギーについて考える。 ●自分でできる省エネルギーの方法を考える。 	<p>8.くらしの省エネルギーと電気の安全(P15,16)</p> <p>□身近な事例から取り上げ考えさせていく。</p> <p>□電気だけでなく、ごみの量を少なくする方法やリサイクルの必要性などについても考えさせる。</p> <p>〈身近な省エネの方法を理解しているか〉</p> <p>□資料から安全な使い方を理解できるようにする。</p>
<p>■電気の安全な正しい使い方を知る。(0.3)</p>	<p>④電気の安全な正しい使い方について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み、電気の正しい使い方を知る。 ・使い方により危険となることも知る。 	<p>〈自分の生活を見直し、電気を有効に使おうとしているか〉</p>
<p>■家庭でできる実践を考える。(0.3)</p>	<p>⑤自分の生活を振り返り、これからも快適な生活を続けていくために電気をどのように利用していったらよいか考える。</p> <p>⑥学習したことをもとに家庭で電気の省エネルギーにチャレンジしてくる。</p>	<p>□ワークシートに家庭での実践を記録してもらうように促す。</p>